

扶桑拾葉集と参考太平記

目次

まえがき	1
------	---

第一章 『扶桑拾葉集』の成立とその献上	15
---------------------	----

はじめに	15
------	----

一 松本純郎氏の主張(1)	16
---------------	----

二 松本純郎氏の主張(2)	22
---------------	----

三 献上の事情	24
---------	----

四 「往復書案」の発信状況	28
---------------	----

おわりに	32
------	----

第二章 『扶桑拾葉集』再考	36
---------------	----

はじめに	36
------	----

一 『中世日記紀行集』収録作品について	37
---------------------	----

二 収録作品の個別問題(1)	39
----------------	----

三 収録作品の個別問題(2)	42
----------------	----

四 収録作品の個別問題(3)	46
五 『群書類従』との関係(1)	50
六 『群書類従』との関係(2)	57
おわりに	58
付記	59
 第三章 『扶桑拾葉集』と『群書類従』——その関係の再考察——	61
はじめに	61
一 『群書類従』第十八輯の収録状況	62
二 収録状況の考察(1)	66
三 収録状況の考察(2)	69
四 収録状況の考察(3)	71
おわりに	73
 第四章 『扶桑拾葉集』収録の「古万葉集序」について	77
はじめに——『扶桑拾葉集』卷一の性格——	77

一 「古万葉集序」収録の意義	79
二 山口博氏の復権説	82
三 「古万葉集序」伝来の経緯(1)	87
四 「古万葉集序」伝来の経緯(2)	89
五 契沖の主張	92
六 復権説への反論	94
七 「古万葉集序」本文の検討	96
付記	98
第五章 『扶桑拾葉集』収録の「正治奏状」について	99
一 「正治奏状」の本文	99
二 「正治奏状」の意義	101
三 吉田活堂による「正治奏状」活用	104
むすび	107
第六章 『扶桑拾葉集』収録の「言塵集序」について	108

一 「言塵集序」の本文	108
二 「言塵集序」の検討(1)	111
三 「言塵集序」の検討(2)	112
第七章 『扶桑拾葉集』収録の「椿葉記」について ——『群書類従』収録本との関連とその主張——	114
はじめに	114
一 『群書類従』収録「椿葉記」の概要	115
二 『扶桑拾葉集』収録の「椿葉記」の概要	117
三 「椿葉記」の主張	119
四 後崇光院貞成親王の思い	128
おわりに	132
第八章 『扶桑拾葉集』収録の「なぐさめ草」について	134
一 「なぐさめ草」の本文について	134
二 「なぐさめ草」の考察——両本の相違——	149

三	正徹について……………	151
---	-------------	-----

第九章	『扶桑拾葉集』収録の「むさし野の紀行」について……………	154
-----	------------------------------	-----

一	「むさし野の紀行」の本文……………	154
---	-------------------	-----

二	道順の検討(1)……………	159
---	---------------	-----

三	道順の検討(2)……………	162
---	---------------	-----

四	北条氏の好學……………	165
---	-------------	-----

五	「むさし野の紀行」の文学性……………	167
---	--------------------	-----

第十章	契沖と『扶桑拾葉集』……………	172
-----	-----------------	-----

	はじめに——契沖の関与——……………	172
--	--------------------	-----

一	『扶桑拾葉集』との関係(1)……………	173
---	---------------------	-----

二	『扶桑拾葉集』との関係(2)……………	176
---	---------------------	-----

三	『扶桑拾葉集』との関係(3)……………	177
---	---------------------	-----

四	「扶桑拾葉集考案」について……………	181
---	--------------------	-----

五	先行研究の検討……………	182
---	--------------	-----

付記	185
----	-----

第十一章 『万葉集』を通してみる義公光圀と契沖の交流	187
----------------------------	-----

一 契沖に伝えた義公の解釈	187
二 義公の解釈の伝来経緯	191
三 義公と契沖の心交(1)	196
四 義公と契沖の心交(2)	199
五 義公と契沖の心交(3)	202
むすび	204

第十二章 『参考太平記』凡例の研究

——『評判』と『大全』について——	205
-------------------	-----

一 『参考太平記』凡例第一条の検討	205
二 『太平記評判』について	207
三 『参考太平記』の割注	210
四 中村新八の鵜飼金平宛書簡	212

五 当時の『太平記』研究の状況	216
-----------------	-----

第十三章 『参考太平記』凡例の研究

—— 卷二十二の欠巻について ——	219
-------------------	-----

一 『参考太平記』 凡例二十一条目の検討	219
二 『参考太平記』 按文の検討	222
三 脇屋義助関連史実の検討	225
四 年次誤謬に関する『参考太平記』の按文	229
五 印本と西源院本における対応関係	232
六 『参考太平記』 凡例の意義	234

第十四章 『参考太平記』の考証力と「謀反」表記

一 足利尊氏出陣の日付(1)	238
二 足利尊氏出陣の日付(2)	243
三 『参考太平記』 考証力の検討(1)	247
四 『参考太平記』 考証力の検討(2)	248

五 「謀反」の表記	251
第十五章 水戸藩における『梅松論』研究	254
一 『梅松論』の奥書(1)	254
二 『梅松論』の奥書(2)	257
三 栗山潜鋒の奥書考察	259
四 足利尊氏伝との関係	262
五 『参考太平記』との関係	265
むすび	269
第十六章 水戸史学からみた足利尊氏の本心	271
一 足利尊氏論の検討	271
二 『参考太平記』が掲げた史料	275
三 菅政友氏の考察	278
四 『大日本史』の尊氏伝	280

第十七章 『大日本史』 足利尊氏伝と『参考太平記』……………282

一 足利尊氏伝の検討(1)……………283

二 足利尊氏伝の検討(2)……………285

三 足利尊氏伝の検討(3)……………289

四 足利尊氏伝の検討(4)……………292

初出一覧……………296

あとがきにかえて……………298